

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年3月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3170200913
法人名	社会福祉法人 養和会
事業所名	グループホーム 仁風荘一番館
所在地	〒683-0841 鳥取県米子市上後藤8-9-23 (電話) 0859-24-9111
評価機関名	有限会社 保健情報サービス
所在地	〒683-0805 鳥取県米子市西福原2-1-1 YNT第10ビル207
訪問調査日	平成19年3月5日

【情報提供票より】 (平成19年2月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 12年4月1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	8人
利用定員数計	9人
常勤	8人
非常勤	人
常勤換算	8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	43,500 円	
敷金	有(円)		無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要 (2月8日現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	2	要介護2		3	
要介護3	3	要介護4		1	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 82歳	最低	77歳	最高	88歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 養和病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成12年に米子市内に2番目に開設したグループホームで、大型施設を始め各種の福祉施設をもつ法人の1事業所である。法人全体の基本理念のもと「自分が暮らしたいホーム」「親にして欲しくないことをしない」支援があらゆる場面で生かされており、職員一同が常にご本人の立場に立って追求しておられる。研修も積極的に行なわれ毎年研修の発表会が法人全体で開催されている。また地域に根差したホームを目指し外部講師を始め、近隣の方と日々の何気ない付き合いを大切にしておられる。全員が女性という利点を活かし毎日お化粧タイムが設けられており、楽しそうに化粧をしてもらったのが印象的であった。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 鍵をかけない暮らしの支援の中で、玄関の自動ドアの改善が求められていたが、まだ改善されていなかった。浴槽が少し深く出入りが困難では?の課題は、介助椅子や介助技術の習得で改善されていた。市町村との関わりは行政の体制が十分と言えずまだ課題が大である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価はパート職員をはじめ全員が取り組み、より良い暮らしを求め遅番職員の時間の見直し、一人ひとりの利用者の思いを的確に把握する為「かも知れないチェックシート」の作成、米川沿いの清掃活動を新たに取り入れ地域との付き合いをより大切する取り組みが4月から予定されている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は第1回が終わり、今回の自己、外部評価の結果を踏まえた2回目の会議が近く開催される予定である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱の設置はもとより、訪問時や電話時に意見や苦情、不安等気軽に言ってもらえるよう、常々話かけがなされており、家族アンケートも取りそれを運営に反映するよう努めておられる。しかし、あまり苦情等があがっていないという事もあり、運営への反映の事例はあまりみられない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 共に地域で暮らす住民として、買物や散歩、ごみ出し等を通じ普段の関わりを大切にすると共に、清掃作業や行事の参加を始め、利用者が縫った雑巾を近くの学校に長年寄贈したり、小学校の時の交流の生徒が中学校になった今でも訪問してくる等、地域に根ざした基盤が築かれつつある。職員も保育園や中学校に出向き、園児や生徒を対象に高齢者の講演をするなど地域に開かれたホーム作りの取り組みがなされている。

2. 調 査 報 告 書

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「わたくしたちは尊厳を守りその人らしく寄り添うケアとゆとりある暮らしをめざします」と独自の基本理念をつくりあげておられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は無論のこと、理念を職員全員が日々唱和と目視をすることにより、理念の意識づけや共有がなされ、その理念の実践にむけ取り組みが日々なされている。	○	「自分が住みたいと思うホーム、親にしてほしくないことをしない」支援を、管理者を含め職員全員が目指し努力しておられる。いまでも充分理念が生かされた取り組みがなされているが、現状にとどまることなくさらによりよいホームを目指し継続して取り組まれるを期待したい。
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時の挨拶をはじめ、雑巾を利用者が縫い学校に寄贈したり、開所当初から近くの小学校と交流していて、その生徒が中学校になっても友達を連れて来るなど継続した交流がなされている。またホームの職員が中学校や保育園に出向き、生徒や園児に絵本を通したりして高齢者について話す等、積極的に地域交流に努めておられる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、評価結果を活かして具体的に改善されていることが確認できた。ISO内部監査も取り入れておられパート職員をはじめ全員が取り組んでおられる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は1回目が行なわれた所であり、近い内に2回目の会議が開催される予定である。	○	1回目の推進会議では家族の都合がつかなく参加されていなかったが、次回からはメンバーに参加される予定であり、運営推進会議が単に報告会にとどまらないで、そこでの意見がサービスの向上に活かされるよう期待をしたい。

6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所から連絡をしても市町村担当者の時間が取り難いなどの理由で、連携が必ずしも十分とはいえない。	○	市町村は介護保険の保険者としては勿論、市民福祉を推進する地方自治の最前線の立場としても、事業所との連携は欠くことのできない存在であり、連携を深め地域密着型サービスをの質の向上に努められることが求められる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月手書きで利用者の暮らしぶりや、健康状態、金銭の使用状況を定期的に行うと共に、個々にあわせた報告がなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置をはじめ顧客満足度アンケートや、家族アンケートを実施する等家族の意見を反映する機会を設けており、ISO品質管理システムを導入、法人としての結果をまとめホーム内にも掲示しておられる。	○	先進的な取り組みがなされていて特に問題はないが、法人としての全体のまとめとは別に、家族アンケート等から寄せられた意見は、ホームの職員が速やかに対応し、家族に安心と満足感を持っていたき運営に反映されると、今以上によいホームになると思われる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来の馴染みの職員が多く、利用者への異動によるダメージは配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会の確保はされており、OJT, OFF-JTの活用を始め、人権やリスクの共通研修に加え、個人用教育訓練報告書を作成し、各自がその目標にむかい研修をし、1年ごとに達成度や評価をおこなうなど職員の育成と支援がなされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会の相互研修、事例検討会をはじめネットワークの加入や勉強会を通じて、管理者や職員はサービスの質の向上に向けて取り組みがなされている。		

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に職員が訪問したり、事前に本人や家族にホームに来ていただき、場の雰囲気や安心、納得が図れるようになされている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	法人の理念に基き尊厳を大事にしながら、支援する側される側という意識をもたず、協働しながら食事作りをしたり、楽しくお化粧タイムを過ごしたりする中で、本人から学んだり支えあう関係が築かれていた。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望、意向の把握に全職員が努め、その思いを大切にしながら、絵の好きな方を公民館の絵画教室に引率する等、本人の視点に立った暮らしの支援が随所になされていた。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見を反映した利用者本位の介護計画が作成され、職員間に共有なされている。	○ 日々の記録に介護計画の目標達成にむけ、職員と本人との関わりがどのようになされたか等の記録部分が、やや少ないように見受けられる。すでにセンター方式と「かも知れないチェックシート」の実施が予定されているので、よりよい記録がされることを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて評価、見直しをすると共に、見直し以前に心身に変化が生じた場合は、新たに現状に即した介護計画が作成されている。	

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在満床のためショートステイの受け入れは難しく、デイサービスはまだ市から許可が出てないのが現状でありこれからの課題である。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望に基づき、かかりつけ医の受診支援がなされている。また往診や24時間サポートがなされている。	
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については入居前の調査用紙にも書き込むようになっており、本人や家族の方針を共有しあっている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人の理念が支援の中で生かされ、誇りやプライバシーを損ねることなく、一人ひとりに暖かい声かけや関わりがなされていて皆さんの顔が穏やかであった。また個人情報保護法に基づく規定を掲示し、併せて個人情報はシュレッダーにかけ廃棄しておられる。	
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるが時間を区切った過ごし方はしてはいてなく、その日をどのように過ごしたいか希望を聞き入れながら歌集を準備したり、畑仕事、買物、ドライブ等、本人のペースを体切にしながら、日々その人らしい暮らしの支援がなされている。	

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	近所からお裾分けしていただいた野菜を見て、みんなで献立を考え合い、その料理には他にどんな材料があるか話し合い、それを元に関物、準備、料理、味見、配膳、下膳、洗い等、特定の人に任せるのではなく、みんなが関わり食事を楽しむ支援がなされている。	
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は365日24時間本人の希望入浴を支援しておられる。時には近くの系列法人内の施設の浴室を借り、大きな浴室でゆったり楽しむ試みをする等工夫がなされている。	○ 24時間希望入浴を基本にされているが、現状では安全面を考慮して遅番の勤務時間内に終わっている。改善の為、すでに4月から遅番の勤務時間を見直す準備がなされており、今後の取り組みに期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	落ち葉のたまった庭を見て、一方的に掃除を依頼するのではなく、「掃除をしよう」という本人の気持ちが湧くのを大切にし、感謝の言葉を伝えながら役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々が過ごせるような支援がなされている。	
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を始め、買物、ドライブは日常的に行なわれており、メンバーも固定しないよう配慮がなされている。歩行困難な車椅子の方も近くの店に引率し、全員が季節を肌で感じたり、五感刺激やストレス解消に努めておられる。	
(4) 安心と安全を支える支援				
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵かけは行われていない。ホームの玄関入り口は自動ドアで中からは反応しない為、電源を入れずに、自由に出入り出来る様に手での開閉となっている。天気の良い日は玄関入り口も居室の窓も開放されている。	
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や近隣施設と協力しながら避難訓練を実施し、マニュアルや災害に備えた備品も蓄えられておられる。	

(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	一人ひとりの一日の栄養摂取量は記録されており、献立表は栄養士に みてもらい指導を受けている。咀嚼が悪くなった人には食べやすい食 事が提供されていた。水分は一日1500CCを目処に摂取し、食事 や水分量の低下が続いたら介護計画の変更をする等健康面への支援が なされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	お雛様が飾られていたり、月に一度は栄養士さんの指導のもと、 うぐいす餅や桜餅などのおやつ作りをする等季節感のある暮らし を大切にしておられた。気になる匂いや耳さわりの音は感じられ なかった。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや布団、家族の写真を飾るなど居心地よく過ご せる居室への配慮は見受けられたが、今少し各居室ごとに工夫が あると良いと思われる。		

※  は、重点項目。